

編集後記

本号には学位論文が2篇掲載されました。一つは、本学歯科矯正学講座丸山公子講師の頭部X線規格写真分析法に関する論文、いま一つは、本学口腔生理学講座鈴木宏和研究生の緊張性顎反射の筋運動制御に関する論文です。松本歯学が発刊された目的や意図については、第1巻1号の巻頭に掲載されている諸先生方の発刊に寄せた言葉の中に述べられているので敢えて繰返しません。本学に勤務する先生方や卒業生諸君の学位論文の掲載の場となることも、松本歯学の重要な役割の一つと編集子は考えております。どしどしご利用されることをお薦め致します。

前々号の編集後記に、最近はおとんどの方がワープロで原稿を書かれるので、原稿用紙の代わりにフロッピーディスクを頂いて、フロッピーディスクから直接印刷機に入れて印刷することを検討していると書きましたが、今回、本号に掲載された論文の一つで試してみましたところ、どうやらうまくいったようでした。ワープロには“新松”を使いましたが、初校で校正したのは添え字だけでした。しかし、学内で使われているワープロは多種多様で、どの位の割合で適用できるか、適用できても省力化に果たして役立つのかなど、分らない面が多々あります。そこで、2～3号について、試験的にワープロ原稿をすべてフロッピーディスクから印刷機に入れてみることを計画致しました。お手数をお掛けして申し訳ありませんが、宜しくご協力のほどお願い申し上げます。言うまでもないことですが、この方法を用いますと、印刷所における打ち間違いは無くなり、従って誤植の見落としによる校正ミスも無くなり、印刷所だけでなく投稿者にとっても便利になると思われます。

先日、日本歯科医学会から近々「社団法人日本複写権センター」が設立されるという通知が来ました。現在日本歯科医学会は、専門分科会を含めて「学協会著作権協議会」に加入しておりますが、この際、松本歯科大学学会のような専門分科会以外の学会の著作物の著作権も一括して「社団法人日本複写権センター」に預けようというものです。このことについて何かご意見をお持ちの方は編集委員までご意見をお寄せ下さい。

(野村浩道)

松 本 歯 学

第15巻 第2号

(非売品)

1989年8月25日 印刷

1989年8月31日 発行

編集兼発行者 加 藤 倉 三

発 行 所 松本歯科大学学会

399-07 塩尻市広丘郷原1780 電話 0263-52-3100

印 刷 所 電算印刷株式会社

390 松本市筑摩3270 電話 0263-25-4329